

平成25年度 事業計画

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

1 貸 出

(1) 杉本美術館への貸出

杉本美術館に、年間を通じて実施される常設展示、特別企画展示に対して美術作品や関連資料の貸し出しと、これらの展示などに関する助言をおこなう

なお、平成25年度は、秋に他館から一括貸し出しのお申し出があるため、春・夏の展示を例年より、ほぼ一カ月繰り上げる。

(本館常設展示室 I)

今年度は、杉本健吉画伯が2004年2月に逝去されてから10年となる。これを機会に、今年度の杉本美術館の展示では、杉本健吉画伯の画業の歩みを3期に分けて計画することにより、一年間を通じて、画伯の一生涯を今まで以上に周知できるようにしたい。

① 春・夏の展示 4月18日～ 8月20日

「若き日の杉本健吉」(仮称)

春・夏の展示では、その手始めとして、名古屋に生まれ、画家としての歩みを始めた初期の作品を紹介するため、このための30点余りの美術作品や関連資料の貸し出しを行う。

② 秋の展示 8月22日～12月20日

秋季には、戦前戦後の苦しい時代、奈良の写生が高い評価を得、さまざまな人々との交流の中で、独特の画風を確立していった時期の作品を紹介する。

このための30点余りの美術作品や関連資料の貸し出しを行う。

③ 冬の展示 1月1日～ 4月22日

冬には、海外でのスケッチ、牡丹など、あらたに明るい絵の世界を見出した、杉本画伯の後半生の作品を、2月の命日にあわせ紹介する。このための30点余りの美術作品や関連資料の貸し出しをおこなう。

(企画展示室)

① 春・夏の展示 4月18日～8月20日

「でんしゃ旅」(仮称)

常設展示室での展示と関連させ、若い時代に制作された鉄道省、名鉄、近鉄、名古屋市関係の観光ポスターの図案を紹介するため、20点余りの美術作品や関連資料の貸し出しを行う。

(他の展示室)

ア 本館常設展示室Ⅵ

① 春・夏の展示 4月18日～8月20日

24年度に引き続いて、吉川英治氏の文学作品のさし絵を中心に展示する。このための作品の貸し出しと助言を行う。

② 秋以降の展示については、杉本美術館を運営する事業者側と協議のうえ貸し出しや助言をおこなう。

イ 常設展示室Ⅱ

『追想・杉本健吉の部屋』：故杉本健吉が長年使用したイーゼルなどの関連資料の他、美術作品

ウ 常設展示室Ⅲ

『「曼陀羅」展示室』：「両界曼荼羅」、「華精文双盤」、空海像など

エ 常設展示室Ⅳ

『「おもちゃ箱」展示室』：「美浜の庭」(油彩)など

(2) 杉本美術館以外の展示会場への貸出

杉本美術館以外においても、美術館・博物館などの施設からの依頼に応じて作品を貸し出すとともに、催事企画に関するアドバイスを行う。

※なお、平成25年9月7日(土)から12月1日(日)まで、青梅市立美術館で杉本美術館所蔵品による『新・平家物語』のさし絵展(仮称)が予定されている。

2 資料収集・整備

杉本健吉画伯の作品資料の調査を進めるとともに、作品や関連資料の分類整理を進める。

3 普及活動

(1) 展示解説など

作家や作品を身近に感じてもらうような活動を通じ、社会教育の振興に寄与するプログラムとして実施する。

(2) 広報活動

事業を告知するためにホームページで様々な情報を提供するとともに展示や催事などの情報を報道機関、出版社などに提供する。

(3) 学校教育への協力

- ① 職場体験学習、職場訪問など
- ② 小中学生を対象としたコンテスト事業の実施

(4) 博物館学芸員実習生の受入れ

(5) 友の会活動

(6) 出版

- ① 杉本美術館だより（季刊）
- ② その他

以上